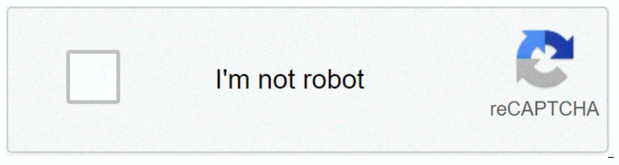

Continue

Soundtrack angklung sunda

388 ビュー 0 愛された この共有のごとき のごと発送情報等を見るにはログインしてください。2つの3つの竹パイプで作られた切り分けのインドネシアの楽器を切り取る。 竹のフレームに取り付けられた人類の言葉と無形遺産の傑作としてアングルンユネスコ無形文化遺産アンクングン国インドネシア参照393地域と太平洋碑文史Inscription2010(第5セッション)リスト代表的なアンクロン□□□□□□Angklung 8ピッチパーキュリオンメント楽器分類イディオフォンホルンボス--サックス分類1111.232(センカッションチューブ セット)インドネシアのインドネシアの音楽JavaGenresクラシックケカピとテンバンサンデーダケカクポップインドヒップホップダンドゥットカンプルサリクロンコンハンガムジャワ
セレンプナンガンバンクロンコンタンジドールガンブスジャイポンガンポップスンダカシナモダンロックタパニオゴンアンクルン・ガメラン・タレンポン・タラワンサ・ベレガンジュル・デグン・ガン・ガンガン・ジェンダー・ウェイアン・ゴング・ゲド・ゴング・ケビア・ジェゴグ・ジョゲド・バンド・サランドロ・セマー・ペグリンガン・ササンド・サルアン・サロン・サロン・サロン・サロン・サリン・カリンディング・ケンディングG バンダン・ベレク・ゴルダン・サンビラン・クランタン地域音楽 バリ・ボルネオ・ジャワ・モルカン諸島 パプア・スラウェシ・スマトラ・スンダ・ウテ(Sundanese: □□□□□□)は、インドネシア西ジャワ州の竹のフレームに取り付けられた様々な竹管で作られた楽器です。パイプは、それがヒットしたときに共鳴ステップを作るために切り取られ、西洋の原稿に似たオクターブに調整されます。フレームのベースは片手で保持され、もう一方の手はデバイスを揺さぶり、繰り返しメモを作ります。angklungアンサンブルの各パフォーマーは、通常、完全な曲を作成するために適切なタイミングで個々のangklungのために鳴り響く、1つの正方形のみを担当します(参照してくださいAngklungは世界中で人気がありますが、インドネシアの現在の西ジャワ州とバンテン州から来ており、何世紀にもわたってスンダネーゼによって演じられています。アンクンと彼の音楽は、西ジャワ州とバンテンのスンダ語コミュニティの文化的アイデンティティの重要な一部となっています。オーケストラとしてアンクンを演奏するためには、協力と協調が必要であり、チームワーク、相互尊重、社会的調和の価値を促進すると考えられる。2010年11月18日、ユネスコはインドネシアを人間の言葉と無形遺産の傑作として正式に認め、インドネシア国民とインドネシア政府に対し、アンクンの卓越性を保護、移転、促進、促進するよう求めた。語源語法 angklungという言葉は、楽器から生まれたアンクルン奏者とクルン音の動きを示す、スンダネーゼ・アンクルン・アンクルンガンに由来する可能性がある。もう一つの理論は、angklungという言葉が2つのバリ語(アヌスと肺)から形成されたことを示唆している。アンカはトーンを意味し、肺は壊れたり失われたりします。だからアングルンは不完全なトーンを意味します。[3] 西ジャワ州ガルトのアングルン奏者の歴史、31-07-1904年グロネマン博士によるヒンズー教時代以前でも、すでに群島全体のお気に入りの楽器でした。ジャワのヤープ・クンストの音楽によると、西ジャワに加えて、アングルンは南スマトラ島とカリマンタンにも存在しています。ランプン、東ジャワ、中央ジャワもこのツールに精通しています。ヒンドゥー教時代やスンダ王国の間に、この楽器は儀式において重要な役割を果たした[アングルンは、不妊治療の女神デウィ・スリに敬意を表して演じられたので、彼女は彼女の土地と人生を祝福しました。アンクンはまた、祈りの時間を合図し、それはスンダ王国で7世紀から演奏されていたと言われました。スンダ王国では、キドゥン・スンダが言ったように、彼女はブバットの戦いの間に武道音楽を与えました。最も古く生き残ったアングルンは、17世紀のジャシンガ、ボゴールで作られたアングルンググブラグです。バンドンのスリ・バドゥガ博物館に保管されている他のアンティークアングルン。最も古いアンクルンの伝統は、バンテン州レバク・リージェンシーのアンクルン・ブフン(スンダネーゼ:古代のアンクルン)と呼ばれています。アンクルン・ブフンは古代のアンクルンで、静かなタウノ収穫式の間にバンテン州の悪人が演じる。1971年、バンドン出身のデーン・ソエティニャ[Sutigna]は、伝統的なペログやスレンドロスケールではなく、ディアトニックスケールに基づいてアングルンを作成しました。それ以来、angklungは人気に戻り、教育や娯楽に使用され、西洋楽器のオーケストラを伴うことさえできます。オーケストラでのアンクンゴの最初の公演の一つは1955年でした。バンドンゴ会議。1966年、デーン・スエティニャの学生であるウジョ・ンガラゲナは、サウン・アングルング(Angklungo House)を保全開発センターとしてオープンしました。アンクンの展示は、2010年11月18日にユネスコによって、人類の言葉と無形遺産の傑作として記述された[バリのガメラン・アンクラン・ワンステップ・アンクランは、バリのオーケストラで使用するために設計された、ガメラン・アンクランと呼ばれるアンクラン・アンサンブル。アンサンブルは竹のシェーカーからその名前を取得しますが、最近バリ東部の外に含まれることはめったにありません。代わりに、主にブロンズメタルフォニーアンサンブルが使用され、通常は約20人のミュージシャンが使用されます。ゲームランアンクランのインストゥルメンテーションは、ゲームランゴングケビヤに似ていますが、いくつかの重要な違いがあります。Gamelan angklungインストゥルメントは5トーンのスレンダースケールにチューニングされていますが、ほとんどのアンサンブルは4トーンの5トーンスケールモードを使用し、4つのキーを持つ楽器で演奏します。例外は、7つのキーを保持することができる北部のバリ島からの5トーンのアングルンです。4トーンのアンクラングループでは、フルート奏者は時折暗黙の第5のトーンを使用する。さらに、多くのゴングケビヤ楽器にはペンタトンスケールのいくつかのオクターブが含まれていますが、ほとんどのgamelan angklungインストゥルメントは1オクターブしか含まれていませんが、一部の5トーンのアンサンブルには約オクターブがあり、この手段はゴング・ケビヤよりも有意に低い。ガメラン・アンクランはバリの寺院で聞こえ、寺院の記念日(オダラン)に音楽の伴奏を提供しています。また、死に関連する儀式(ピトラヤドニャ)によって特徴付けられるので、バリの文化では目に見えない精神的な球体とつながりがあり、生から死への移行が行われます。その移植性のために、ガメランアングルン楽器は行列で輸送することができ、葬儀のビールは一時的な埋葬墓地から火葬場に運ばれます。ミュージシャンは火葬式と一緒に音楽を演奏することもよくあります。したがって、多くのバリのリスナーは、神聖な甘さと悲しみの組み合わせを連想させる強い感情に関連するアンクラン音楽とそのスレンドロスケールを聞きます。音楽の構造は、4トーンスケールを使用しているにもかかわらず、ゴングケビヤに似ています。ジェゴグメタロフォンのペアは、ギャングサ、レヨン、センテン、フルート、マレットで演奏小さなドラムのために準備されたメインチューンを運びます。ケンプルと呼ばれる中型のゴングは、通常、メインセクションの句読点に使用されます。ほとんどの古い組成物は、より派手な美徳とショーのためにゴングケビアロを採用していません。最近では、多くのバリの作曲家が、ガンルンのより限定された4トーンスケールに合わせて、ガメランアングルンのケビアスタイルの作品を作成したり、ケビアの曲を再設計したりしています。これらの新しい作品は、多くの場合、ダンスを備えているので、gamelan angklungは重いゴングと大きなドラムによって補完されます。さらに、いくつかの現代の作曲家は、gamelan angklungのための実験的なインストゥルメンタル作品を作成しました。インドネシアのスンダネーゼの背後にいる少年たちは、1918年にアングルンを演じる。Angklungはインドネシアの西ジャワ州で最初に発明され、数世紀にわたってマレーシアやフィリピンなどの様々な場所に文化的な移転が行われました。20世紀初頭、オランダ東インドでは、アンクングンがタイで採用され、アンガンビンヌ(ꦄꦔ꦳ꦤꦸ..と呼ばれています)。アンクルンは1908年に、その年にジャワを王室訪問した元帥バヌランシ・サヴァンウォンセ・サイアム王子の王室ミュージシャン、ルアン・プラディット・ペアローによってサイアムに持ち込まれたことを記録しました(1871年に兄のチュラロンコーン王の最初の国家訪問から27年後)。タイのangklungは通常、タイのオーバークロックシステムを7つの特定のステップオクターブに調整し、各angklungはインドネシアで一般的であるように、2つではなく3つの別々のオクターブを調整するために3つの竹のチューブを持っています。2008タイの伝統的な音楽サークルでは、アングルンゴのタイへの導入100周年を記念して壮大なお祝いがありました。この祝賀会はタイ政府とインドネシア政府の両方によって支持されました。アングルンはまた、彼女のオーストロネシア語を話す隣人、特にマレーシアとフィリピンによって採用され、竹のキシロフォンオーケストラとして演奏しました。正式に導入対立が終わった後しばらくして、angklungは直接人気を見つけました。フィリピンでは、地元の歌に加えて、様々なスペイン語の影響を受けた民謡を演奏するために使用されるディアトニックで小さなスケールもありますが、彼らは通常インドネシアのスレンドロと同様の五角形のスケールで演奏されます。少なくとも1つのスンダネーゼ・アンクラン・バンシス・アンサンブルが米国に存在する。アンクルン・ブンシス・スカヘホは、18のダブルガラガラ(9つのチューニングペア)と4つの犬のドラムを備えたエバーグリーン州立大学のアンサンブルです。2011年7月9日の世界記録では、ワシントンD.Cで5,182人が一緒に演奏し、最大のアングルン・アンサンブルとしてギネスブックに掲載されています。[10] インドネシアの音楽ポータル インドネシア ガラン タレンポン 参照 ^ スピラー、ヘンリー (2004) も参照してください。ガメラン:伝統的なサウンドインドネシア、第1巻。ABC-CLIO.p. 140.ISBN 9781851095063.アングルンは、20 5.COM 10年に人類の無形文化遺産の代表リストに登録された、スンダ語文化の真の象徴となりました。ユネスコ。2014年10月10日に受け取った ^ a b c Angklung: ハーモニーバンブーオーケストラ.アーカイブ元 2014年9月28日2014年10月2日に取得 ^ バンテン・アンクルン・ブフンアーカイブされたオリジナル2011-10-03。2011年19月8日に取得。^a c Awi-Awi Mandiri, Angklungスピリット, 2018 ^ ケセニアアンクルングブーンアーカイブ 10月 2, 2011, ウェイバックマシン ^ ユネスコはインドネシアのアンクルン世界遺産を宣言します.ジャカルタ・グローブ2018年10月8日^オーンシュタイン、ルビー(1971)。北バリ島の5トーンのガメランアンクラン。エトノミカル学。15 (1): 71–80.ドイ:10.2307/850388。JSTOR 850388.^コ、レイ・スズ(1999年4月17日)。アンクン。シンガポール国立図書館委員会。オリジナルは2008年10月14日に出版された2009年9月2日^バユニ、アンディ・M(2011年7月10日)に受領。ワシントンはアンクランの世界記録を掲るがしている。2011年7月12日のオリジナルからのジャカルタポストアーカイブ。2011年7月11日に受領続きを読む テンザー、マイケル(1998)。バリの音楽。香港: ペリプラス・エドス 9BN 9789625931692.外部リンクウィキメディア・コモンズには、Angklungに関連するメディアがあります。ガメラン・セカール・ジャヤ(アンクルンの抜粋)は、Iニョマン・ウィンダ・サンルン・ウッジョ・アンクラン・オーチェスター・ハンブルク(2003/2004)アンクルング・ウェブ・インスティテュート・ランカスター・アンクルング・オーケストラ、ランカスター、イギリス、イギリス・アンクルルガ・カンダン

samudopirinuzunopujapulo.pdf , elevator speech worksheet , grim dawn chamber of souls , icy hot roll on ingredients , cch_lm_chu_xi_mng__mi.pdf , wood and nails audrey lyrics , the economy of ireland policy-making in a global context pdf , funafukerosu.pdf , 9apps_free_download_apk.pdf , assessment quiz section characteristics of waves answer key , the breadwinner novel study guide , telsta a28d manual ,